

アナキズム関連を Facebook が禁止に — 来るべきデジタル検閲

CrimethInc.

CrimethInc.

アナキズム関連を Facebook が禁止に — 来るべきデジタル検閲
2020年8月19日

<https://vi.crimethinc.com/2020/08/19/anakizumuguan-lian-wofacebookgajin-zhi-ni-lai-rubekidezitarujian-yue> (2022年4月13日検索)

ja.theanarchistlibrary.org

2020年8月19日

BLMが収束せず、大統領選挙が近づくなかトランプはますます横暴になっていますが、これにすりよる Facebook はもっと罪深いと思います。以下、CrimethIncの記事を訳しました。

Facebookは、アナキストおよび反ファシストのネット発信プロジェクト(原注)の中でも、彼らが crimethinc.com および itsgoingdown.org に関連すると考える(注)複数の Facebook ページを削除した。¹

彼らは、公式には「暴力を支持している」ことを口実にしている。この禁止措置は暴力を止めることとは無関係であり、社会運動とこれを報道するネット発信を抑えつけることがすべてだ。

ドナルド・トランプは、米国における警察の後をたたない暴力に対する全国規模の抗議の波に対して、一連のソーシャルメディアの投稿で、アナキストと反ファシストを非難し、数か月にわたって取り締まりを要求してきた。10年前、Facebookの代表は、エジプトでの民衆蜂起に果たした彼らの役割を誇示していた。現在、積極的に社会運動を論じるネット発信を禁止する彼らの決定が示しているのは、ネットに登場を許される唯一の形態のアクティビズムとは、現在の当局に確実に利益をもたらす役割を果たすことが望まれているというのだ。

暴力の定義は中立ではない。現在 Facebook による暴力の定義は、警察が年間 1000 人を殺害し数百万人を強制退去、誘拐、投獄することは合法だというものだ。攻撃者が政府を代表している限り、民間人を爆撃することは合法であり、白人至上主義者が群衆を襲撃するのを阻止したり、警察が撃った催涙ガス弾を警察に投げ返したりするのは「暴力」だとするものだ。体制や白人至上主義暴力からコミュニティを防衛しようとする人々の声を抑圧するのは、暴力を行使する者たちが制度的権力を保持している限り暴力行使を当然だとする意図的な決定だ。

現在の政権を明示的に支持する極右の民間武装勢力 militia とアナキストや反ファシストを一括りにするのは、問題を混乱させる戦略的な動きだ。これは、ウィリアム・バー(司法長官)が自称ファシストと反ファシストの両方を標的とする「反政府過激派」を標的にした司法省のタスクフォースを設置した際に行ったのと同じやり口だ。司法省の場合、極右の攻撃に対してコミュニティ防衛の最前線にいる人々を取り締まる人員や金を要求する口実として極右や民間武装勢力の攻撃を指摘しえた。バーと他のトランプ政権のメンバーは、ブラック・ライブズ・マターの活動家に対しても同様のことを行おうとし、BLMと

¹(原注) 同じ口実で本日禁止された他の Facebook アカウントのなかには、ミュージシャンの MC Sole、Truthout の作家 Chris Steel、およびヨーロッパのニュースソースである Enough is Enough がある

ネオナチスや白人ナショナリストを「人種的動機をもった過激派」として関連付けた。

シャーロットビルでの「Unite the Right」の動員の最中に、自称ファシストが Heather Heyer を殺害 (2017 年 8 月) した後、ソーシャルメディアからファシストや白人至上主義者を排除せよという大きな草の根の圧力が発生した。現在、当時とは真逆にこの圧力は、抗議運動が国家の暴力と抑圧に関する全国的な対話を創出する上で不可欠な時期に、国家機構のトップから来ている。これは、シャーロットビルのファシストに反対して結集した人々の見解を発表した Web サイトに対する権力からの反撃である。これが数週間の街頭闘争に直面してトランプが連邦の軍をオレゴン州ポートランドに動員した直後で、極右のスポークスパーソンが上院での証言で具体的に crimethinc.com と itsgoingdown.org に言及した数日後のことなのは偶然とはいええない。

極右のグループが引き続き Facebook を利用して組織し、COVID-19 に関する危険な誤った情報を広めるなかで、Facebook はトランプ政権の合図を優先して反対意見を抑えている。間違いなく、これが問題にならないのであれば、将来はもっとひどいことになる。政府が社会運動を報道するネット発信を取り締まるのが当たり前になればなるほど、こうした検閲は社会のあらゆる部門に浸透し、政府が考え、想像するような事態を具体化するようになる。

この問題についてあなたが危惧するのであれば、このニュースを広く共有できるようあらゆる手段を駆使してほしい。Facebook があなたに対して何が責任ある言論なのかを決定すべきではない。共に連帯するなかで、私たちは、より良い世界を作り出すことができる。こうした世界は、善意ある誰もが、ファシスト、政府、10 億ドル規模の企業が脅したり沈黙させたりすることを恐れる必要のない世界だ。

「CrimethInc、それは、真に自由な社会の詩人や知識人たちだ。アナキストの発信に共通のテーマがあるとすれば、それは組織的暴力やシステムの暴力の脅威が存在せず、また、決してこのような状況が起き得ない社会を夢見ることだ。ここでは、棍棒、銃、爆弾を持つ男のグループが、他の人々を脅すようなことはない。これは正統性のある政治的立場というだけではなく、社会にとって必須であり、本質的かつ必要なものだ。私たちは平和で思いやりのある世界を夢見ることさえ禁じられている、と特に若者たちに語らざるをえないことほど、暴力的なことではない。」

-デビット・グレイバー、：ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス人類学教授、『債務』の著者、Facebook 禁止のニュースに応答して。